



練馬区立石神井西中学校

第2学年 学年通信



令和2年10月9日(金)発行

第32号 ~太陽の学年~



実りの秋です。

朝夕はすっかり涼しくなり、キンモクセイの匂いが漂う秋本番を迎えています。年度の折り返しでもあり、何かを始めたり再チャレンジしたりするのもピッタリな季節です。スポーツ・部活の秋、食欲の秋、読書の秋、そして勉強の秋。みなさんはどんな秋にしますか。

今週のようす

テストが終わり、いつもの学校生活に戻りました。月のはじめでもあり、生活の見直しも学年集会で行いました。



学年集会①(月曜)

バッチ点検、授業前準備点検の表彰を行いました。



学年集会②(月曜)

西中の伝統、オーバーナイトサクセスを行いました。



新聞掲示(放課後)

完成した職業講話新聞を廊下に掲示しました。

今後の予定

日付	内容	日付	内容
10/12(月)	朝礼 通常6時間 ①学	10/19(月)	通常6時間 避難訓練 ①総
10/13(火)	通常6時間	10/20(火)	通常6時間
10/14(水)	通常5時間 ⑤学年体育	10/21(水)	通常5時間 歯科検診 ⑤道
10/15(木)	通常6時間 ⑥総	10/22(木)	通常6時間 ⑥総
10/16(金)	通常5時間 <u>式服登校</u> 区・教育指導課訪問	10/23(金)	5時間 <u>体育着登校</u> ②~④体育実技発表会 ⑤総
10/17(土)	休業日	10/24(土)	授業日 3時間

<コメント欄>

意見文紹介

Ver. 18 伊藤先生より

53歳の現役サッカー選手

～キングカズの偉大さ～

この文章は努力に対する意識を述べているのだと思った。「アンテナを立てて待ってるよ。」という言葉に対する本人の意識の高さ。それが最初はただただ滑稽に見えていただけだったのに、本人が努力し続けていたら周りの見る目も変わってくる。これは自分が周りに何と言われようと圧倒的な目標に果敢に向かっていけば結果も周りもついてくるということだと思う。

努力し続けることは、私はとても苦手だ。すぐに飽きて止めてしまう。なんのためにやっているのか分からなくなる。でも三浦選手のように「自分の目標」を作ればもっと明確に目指すものが分かるのかもしれない。人のせいにすることも言い訳をすることもとても簡単だ。だからこそ気を付けていかないとどんどんあふれていく。私はそれを止めるために自分にブレーキを作ろうと思った。(D組女子)

三浦知良選手は、「弱音を吐かない」「努力をする」53歳なのに、頑張って準備する。それに比べて、自分はアンテナが下がっていたのだと思う。自分は弱音を吐いていたと思う。自分が試合のメンバーの入れないのは、そのためかもしれない。調子が悪かったらそれを言い訳にせず、「そういうときこそ調整して、最高のプレーができるようにすれば良いのではないか。」と考えさせられた。

「アンテナを下げずに努力を続ければこんな日もくる。」それは、昨日の自分を超越、周りのことに気を配り、気付いたことを行うなど、考えてみれば当たり前のことだと思う。だが、それをやっていけばいつかきつと努力が実を結ぶということだろう。(E組男子)

実習生紹介

今週から3週間、実習生とともに生活をしています。
北崎先生(2F・社会科)と根本先生(2D・数学科)から直筆の自己紹介文を書いてもらいましたので紹介します。

文教大学から来ました、北崎雅彦と申します。担当教科は社会です。大学では日本史を専攻していましたが、現在は道徳教育を研究しています。3週間のあいだ、よろしくお願ひします。

文教大学から来ました、根本夏穂と申します。担当教科は数学で、好きな数学の領域は、図形の領域です。3週間という短い期間ですが、元氣いはいいな生徒のみなさんに負けないよう、一生懸命に、実りのある実習にしたいです。よろしくお願ひします。